

繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山 1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246



渡辺道治先生と藤田ひなさん
によるミニ演奏会の様子

私の言葉は独りよがり？ お道の教えの翻訳を

「私はお道の言葉を使わずに、天理の教えを分かりやすく翻訳して、子どもたちに伝えようとしているんです」

先月の春季大祭にお越しいただいた渡辺道治先生は、お話の中でこうおっしゃった。実際に先生の言葉は小学生でも分かりやすく、なおかつ我々大人にとっても深く、強く心を揺さぶるチカラがあった。

先生は今でも小学生のクラスの担任として日々授業を行い、これまで学級通信を毎日のように書き、その数は一万枚を超えるそうだ。僭越ながら、私自身も教会長になってから夕席（夕づとめ後のお話）をほぼ毎日つとめ、月一回ではあるがこの巻頭言を書いてきた。だからこそ、比較するのはおこがましいが、その継続における先生の努力と労力は想像に難くない。言葉を磨き続けてこられたからこそ、渡辺先生の授業には感動があった。

当たり前だが、宗教には教義という答えがある。言うなれば、初めから言葉が用意されているようなものだ。しかし、特に相手の悩みや苦しみに寄り添い、対話するとき、言葉は「こちら側」にあるという態度では、ややもすれば傲慢になりかねない。

少年会員（0歳から15歳）の子どもたちに信仰の価値をどう伝えるか。宗教は胡散臭いと言っている方の心を

動かす言葉はなにか。大地震に被災された方々にかける言葉は、教えではこうなんだという正論なのか。

宗教家、おたすけ人として、他者の深いところと真正面から向き合うとき、上つ面な言葉では戦えない。また、一方的に「話す」だけでなく「聞く」という双方向のコミュニケーションでなければ、それはただの独りよがりになってしまふ。そして、宗教という目に見えない世界を語るからこそ、自分自身が体験した血肉として出てくる「言霊」が宿った言葉でなければならぬ。言うは易し行うは難し。私自身、小手先でそれっぽく言葉を並べても相手に伝わらず反省ばかり。未だ、「私の言葉」を探し続けている。

私が日本語表現において私淑（※1）している方に故・井上ひさしという作家がいる。ひよっこりひよたん島の原作者といたただけるだろう。渡辺先生と関わる中で、井上氏のある言葉が思い出された。

「むずかしいことをやさしく、
やさしいことをふかく、
ふかいことをおもしろく、
おもしろいことをまじめに、
まじめなことをゆかいに、
ゆかいなことをいっそうゆかいに。」



この井上氏の言葉は教祖のひながたにも通ずるものがあるのではないだろうか。親神様はなぜこの世、人間世界をつくったのか。人間の生きる目的はなんなのか。この究極の問いを当時

の人々にどう得心させるかということに教祖は心を砕かれ、「陽気ぐらし」という真実の教えを示された。

そして教祖は、時に例えを用いて分かりやすく、親が我が子を慈しむようにあなたかく、恐れでなく希望をもたらせてくださった。そんな教祖のひながたを辿るといふ点において、私たちの工夫や努力は欠かせない。と同時に、教祖は難しいことを私たちに要求するのではなく、シンプルに繰り返しこうおっしゃった。

「あなたの救かったことと、
人さんに真剣に話さして頂くのやで」

難しい言葉、借りてきた言葉、場当たりの言葉はもういらない。救けていただいた信仰の喜びや感動という自分の内なる根源から出てくる言葉にこそ価値がある。

さあ共に、一人ひとりの「生きた言葉」に磨きをかけ、胸から胸へと周りに伝えていこう。

立教百八十七年二月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男

※1

直接に教えは受けないが、ひそかにその人を師と考えて尊敬し、模範として学ぶこと。
(2023年5月号の月報巻頭言を参照)

【主教百八十七年 春季大祭 祭文】

これの繁藤大教会の神存にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。親神様には、旬刻限を令圖に教祖をよろにお定めになり、月日にわにんけんはしめかけたのわよふきゆさんがみたいゆへから、この世人間をお創め下さいました深い思召をお明かし下され、これの世界たすけの眞実の道をお教え下さいました。爾来、永の年限、変わることをなく尽きせぬ親心のまに陽気つくめの世界へとお導き下さいます御慈愛の程は、誠に有り難く勿体ない極みでございます。私共は、存命でお働き下さる教祖のお導きを頂いて、至らぬながらも御用の上に励ませて頂いておりますが、その中にも今日のこの月は、教祖が子供可愛、故、定命を二十五年お縮めになり、扉開いて世界ろくぢに踏み均しに出られた忘れ得ぬ尊き元一日の理を受けて、これの大教会に御許し頂きました春の大祭の日柄でございます。すので、只今からお役に預かるおとめ奉仕のようばく一同、正月二十六日の理に思いをいたし、一手一つに心を揃え、座りづとめをどりをつとめ、主教百八十七年の春季大祭を執り行わせて頂きます。御前には、折柄の寒さの中を遠近を問わず馳せ参じました縁の道の子たちが、共におうたを唱和し、日頃賜る厚き御恵みに御礼申し上げ、尚も一筋心にお縫りする状をも御覧下さいまして、お勇み下さいますよう御願ひ申し上げます。

こと分けて申し上げます。昨日、繁藤の理に繋がる部内教会長夫妻をはじめ主だったようばくを対象に「おたすけ推進の集い」を開催いたしました。教祖百四十年祭の三年千日の第二年目にあたり、論達てお示し頂く指針、また大教会の活動方針を胸に、一人ひとりがひながたを求め、教祖の御心に溶け込んで、たすけ一条に歩ませて頂く決意を新たにいたしました。また本日の大祭にあわせて、渡辺道浩先生に御巡教いただき、おとめ後に、御講話を頂戴いたします。御講話をしっかりと拝聴し、信仰の喜びを胸に、明日に希望を持って、今日を陽気に歩み出す契機とさせて頂きます。何卒、この心定めをお受取り下さいまして、この上共に自由の御守護を賜り、道は更に伸び展けて、一れつ兄弟姉妹が結び合う、陽気つくめの世の状えと立て変わりますようお導きの程を、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

《繁藤大教会立教百八十七年 春季大祭 祭典役割》

祭主	大教会長	伊藤正福
指図方	田村辰久	秋月真一郎
扨者	佐藤栄治	立花真一郎
扨者	為田基紀	佐々木 恵
賛者	田村聡佐	田村省悟
賛者	佐々木 恵	村上由高
座りづとめ	座りづとめ	てをどり前半
大教会長	大教会長	てをどり後半
前大教会長	前大教会長	村上英士
近藤徳彦	近藤徳彦	安部道郎
大教会長夫人	大教会長夫人	佐藤成彦
前会長夫人	前会長夫人	河村美佐子
黒石伸子	黒石伸子	武市まち子
藤田一憲	藤田一憲	田村美由紀
川田節夫	藤田一憲	空閑真理代
佐藤節幸	川田節夫	空閑一将
宮田孝道	為田基紀	石川信雄
藤田憲明	宮田孝道	坂口正幸
空閑一教	藤田憲明	宮田教一
村上由高	空閑一教	佐藤一三
藤田 誠	村上由高	藤田 誠
渡辺道仁	田村辰久	渡辺道仁
渡辺道浩	為田紀久男	渡辺道仁
河村道興	河村道興	秋月真一郎
立花真一郎	佐藤栄治	黒河明大
佐藤文代	藤田洋美	村上 綾
空閑 都	佐藤順子	高山範子
大亀満寿子	空閑さとの	大亀満寿子
田村睦美	田村睦美	
渡辺道	渡辺道	
仁先生	仁先生	
神殿講話	神殿講話	

【神殿講話】

(二月) 大 教 会 長

【修養科生並びにおさづけの理拝戴者講話】

(二月) 坂 本 信 子

【教会長神殿当番】

(二月) 未 見・新居濱・城 攝

(三月) 高 阪・武富士・繁 金

【詰所教養掛】

(二月) 村 上 英 士

(三月) 佐 藤 成 彦

【詰所事務当番】

(二月) 前 田 優 一

(三月) 立 花 孝 一

【ひのきしん】

○本部食堂ひのきしん

胆 澤 3月16日～31日

日之富 6月16日～30日

○婦人会詰所ひのきしん

二月二十五日～二十六日 (大教会)

【繁藤大教会 春季大祭】

去る1月21日、寒い中にも穏やかなお天気を頂き、春季大祭をつとめさせて頂きました。当日は日曜日で、前日のおたすけ推進の集いもありましたので、大勢のおつとめ奉仕者や参拝者で参拝場が一杯で、廊下にもあふれておりました。又、祭典講話では、渡辺道治先生の講話を頂き、講話後には渡辺先生のバイオリンと、藤田ひなさんのコントラバスの演奏も披露頂き、生の演奏を聴かせて頂く貴重な機会となりました。更に渡辺先生には、前日に子供達に集ってもらい「飛び込み授業」という初対面の子供達に向けて行う授業をして頂き、その様子も見学させて頂きました。両日とも先生に関心を持たれた繁藤以外の方も来られていました。

【繁藤大教会おたすけ推進の集い】

去る、1月20日に「繁藤大教会おたすけ推進の集い」を開催させて頂きました。当日は60名の方々が熱心に受講され、大教会長挨拶

の後、今年の各部各会年間活動予定を発表し、ご本部から配布されましたDVDを視聴させて頂きました。その後、「人生相談」と題し、具体的な身上や事情の相談内容を、各グループで一つ選び、問題解決へと導けるよう、教理的また社会福祉的な面からも考え、練り合いをもたせて頂きました。ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。

【婦人会】

○「天理教婦人会第一〇六回総会」

式典 日時 4月19日(金) 午前9時30分

場所 本部中庭 南・東礼拝場前

西境内地

記念行事 支部の集い

○繁藤婦人会では、毎年教祖御誕生祭に

「御赤衣料」として御供をさせて頂いています。ご賛同頂ける方は、直属教会を通してお持ちいただきますよう、よろしくお願いいたします。

○別席強調月間

4月1日(月)～4月30日(火)

にぎやかに 総会月の 別席場

老いも若きも別席者のご守護をいただきますよう。

【少年会】

少年会の年頭幹部会で、左記の通り今年の活動方針が発表されました。子供達にしつかりと信仰を伝えさせて頂きましょう。

立教百八十七年天理教少年会活動方針

「教祖のひながたを目標に教えを実践し、

子供に信仰のありがたさを伝えよう」

重点項目

○子供に教祖のお話をしよう

○教会おとまり会、

教会こども会を実施しよう

○地域で少年会ひのきしんを実施しよう

～こどもおぢばがえり～

子供とおぢばがえりの喜びを味わおう

全教会からの帰参を目指そう

○「第41回おつとめまなび総会」

今回で第41回目になります「おつとめまなび総会」を左記の通りつとめさせて頂きます。

教会には要項を月報に同封いたしておりまして詳細をご覧頂き、各隊とも大勢ご参加下さいますよう、お世話取りの程よろしくお願ひ申し上げます。

記

日 時 3月31日(日) 9時30分より

場 所 大教会

参加御供 一人、千円

おつとめ役割

座りづとめ …… 各隊代表でつとめる

よろづよ八首、一・二下り目

……直属・藤高・佐岡

高杉・高阪隊

三・四下り目 …… 本山・馬関・別府

飯武・藤広隊

五・六下り目 …… 城下隊

七・八下り目 …… 西田川隊

九・十下り目 …… 垣生隊

十一・十二下り目 …… 種崎隊

【学生会】

学生生徒修養会の「大学の部」が、3月4日～8日までの日程で開催されます。同世代の学生が、共に教えを学び繋がりを深めることは、その後の進路や信仰生活の上でも有意義な事だと思えます。ご参加頂けますよう、対象になります学生さんにお声掛けの程、よろしくお願ひ致します。

下記のQRコード・

URLより、詳細をご覧

頂けます。


<https://happist.net>

【初席者(十二月)】

大教会 Syerlyn Caiseros Martinez

【おさづけの理拝戴者(十二月)】

大教会 Syerlyn Caiseros Martinez

【をびや】 一件